

# 多発する事故！

# どこまで続くのがJRの安全無視

# 日刊 勤労千葉

1988.8.12  
No.2872

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）公衆〇四七二（二二）七二〇七

## 「運転保安確立」のたたかいを「企業倒産運動」と悪罵をなげつける鉄道労連

鉄道輸送の根幹たる安全輸送の使命はJR発足により、かつての「安全第一」の姿勢すら解体され、「採算第一」「黒字経営第一」に完全にくつがえされた。

いま全国で事故が後を絶たない。その最大の要因がJR当局の姿勢にあることは言うまでもない。同時に、当局は黒字企業となるためには「安全は二の次」と安全のための投資を怠っている。そして、それに拍車をかけているのが労革マル・鉄道労連だ。運転保安の闘いを「会社倒産運動だ」と悪罵をなげつけ、「事故が増えた」というのはデマ宣伝だ」と会社当局と一体となって運転保安確立のたたかいに敵対しているのだ。

### 大事故の前兆

全国で事故隠し、組口つぶしの裏で重大事故！人命を軽視するJRが、全国いたる所で起こるべく、起きている事故は枚挙にいとまがない。首都圏では、勤労千葉、国労組合員を追い出すためにのみ狩り出された広域移動の鉄道労連の組合員の事故は日常茶飯事であり、また要員はギリギリに削減し、労働条件は苛酷を極めているのもかわらず、増収のために臨時列車を増発する。これがJRの安全無視の実態である。

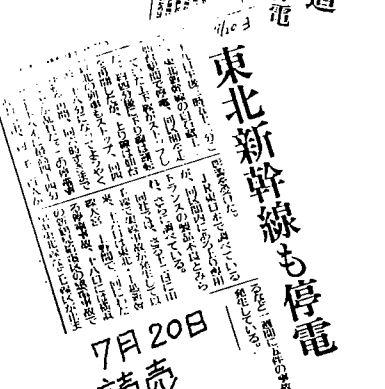
・四月二二日 貨物列車と電車衝突（東海道用宗駅・保安装置の故障、貨物列車が接触限界に達しているにもかかわらず、上り電車の場

内信号が「青」だったので進入したら衝突するという事故  
：四月二九日 大船駅で横須賀線寄りのトランスが火を吹き、根岸線に飛火。トランスの火は東海道線、貨物線へと次々に飛火、トランスが爆発して火を噴く火災が発生。この間、大船信号所は電力指令に「起電停止を要求」、だが指令は大船電力よりの「要請がない」ことを理由に起電停止せず、消防車がかけつけていたにもかかわらず、電車は走っているという異常事態が発生。

当局と勤労革マル・鉄道労連が、意図的に事故隠しをする中で、大参事につながる事故がおきているのは事実だ。

### 安全無視の施策でJRの施設はガタガタ

国鉄施設設備維持更新新費員に ついての総経理裁国△云然ロ弁  
一九八〇年 高木総裁  
「年間五〇〇億円でも十分でない。残念ながら八五年までの期間、だまされまじ修繕しながらやっていく。トンネルとか橋では徐行運転していく」  
一九八五年 仁杉総裁  
「一〇〇〇億円から三五〇〇億円です。こうかと計画を変えています」  
八〇年の「だまされまじやっていく」から分割・民営化が問題になった八五年には「手抜きでやります」にかわっている。



7月12日から一週間 JR東日本は五回も列車運行に影響がでる事故が発生？